

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(簡水)維持管理事業			
予算科目	1 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	隅田 英久	担当責任者:	森脇 隆
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(簡易水道の利用者)			
根拠法令等	水道法			
事業の目的	双海、中山地区の9箇所(上灘、豊田、小網、本郷、城の下、中山、佐礼谷、村中及び永木)の簡易水道区域内に安定的に水の供給を行えるように施設管理をする。			
事業の内容	双海、中山地区の9箇所(上灘、豊田、小網、本郷、城の下、中山、佐礼谷、村中及び永木)の簡易水道区域内に安定的に水の供給を行うために各浄水場及び配水管等の水道施設を維持管理する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	日々のログ一監視及び週一回の巡回点検により、各施設の現状把握を行い、統合整備事業との整合性も合わせ、無駄をなくし、更なるコスト縮減に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	31,280	35,222	11,254	30,357
	人件費	6,799	4,555	1,545	4,555
	合計	0	39,777	12,799	34,912
人件費 内訳	人工数	0.85	0.56	0.19	0.56
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	6,799	4,555	1,545	4,555
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	38,079	39,777	12,799	34,912

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
光熱水費	千円	6981	7971	3789	7444
修繕費・工事請負費	千円	8998	10605	3340	8202
委託料	千円	5138	5175	975	4989

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	41,000	41,000	41,000	20,000	20,000	163,000

成果指標				
成果指標	水道使用料÷総務管理費用(直接事業費)			
指標設定の考え方	水道施設を維持管理していく上で、費用対効果及び受益者負担の原則により、独立採算制が取れる事業に少しでも近付ける必要がある。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	1.2	1.2	0	0
実績	0.92	0.96	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	散在する小規模施設の経年劣化は避けて通れない状況にあり、今後、施設の更新と統合整備計画との整合性を図りながら、計画的・効率的な維持管理を行っていかねばならない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	簡易水道の維持管理事業にあつては、各簡易水道施設を健全かつ円滑に運転管理し、安全で安定した水道水を住民に供給する重要な事業である。今後においても、施設の現状をつぶさに把握し計画的な施設整備(修繕・改修・改良)を立て実施すると共に、適正な維持管理と効率的な事業運営を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	・上灘地区の水道統合整備事業等にも共通した課題認識に基づき、計画的・効率的な維持管理に努めていただきたい。・国・県への財政対策について要望すべきではないか。・簡易水道会計への繰入金が拡大しており、水道料金の見直し、施設の統合など、中・長期的な対策に取り組むことが必要である。・簡易水道事業に関して全体が見えてこない。関連事業を一本にしてもらうのが市民の希望である。・全ての事業をシミュレーションし、償還も含めて示していただきたい。・簡易水道事業とはこういうものであると、一般財源から拠出してくるお金の推移を示していただければと思う。・上水道も簡易水道も使う側としては同じ水道水である。料金が違うのは利用者からするとおかしい。同一料金にすべきだと思う。・ご苦勞な点が明確に伝わってきた。合併してなお課題をどうにか克服しなければならないということだろう。理想論からすると、同じ料金体系が当たり前である。どの地域の住宅にも必ず水があるということではないことも含め、今後の課題として認識いただきたいと思う。
-------------------	---

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	